

和歌山

あなたと

県

をつなぐ広報紙

県民の友

1

No.977
令和2年[2020]

月号



県政最前線

未来を託す子供を育てる

有田市行政パートナー「わいがや娘の会」のイベントで交流する親子(有田市)

年頭のご挨拶



和歌山県知事
仁坂 吉伸

あけましておめでとうございます。
県民の皆様には清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、新天皇陛下が御即位になり、時代も「平成」から「令和」へと移り変わる節目の年となりました。

和歌山県では、紀伊山地一周高速道路の全区間事業化や小型ロケット射場の誘致が決定し、ねりんピック紀の国わかやま2019、和歌山県人会世界大会が大成功を収め、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録15周年とともに国内外に本県の魅力をPRできた素晴らしい一年でした。

本年は、IR（統合型リゾート）、白浜などを中心とした地域へのICT企業、ロケット射場建設を契機とした宇宙産業の誘致などで新しい和歌山を創っていく年だと思います。

また、子育て環境の充実、高校生や大学生の県内就職の支援など働き手の確保、新産業の創出や先端技術導入、防災対策の推進、個性豊かで暮らしやすい地域づくりや道路ネットワークの整備などに積極的に取り組んでまいります。

「令和」の新時代が「和歌山の時代」となるよう、皆様と手を携え、力を一つにし、和歌山県発展のため全身全霊をかけて取り組んでいく所存です。

本年は、東京オリンピック・パラリンピックが我が国で開催される記念すべき年です。和歌山にとっても県勢浮上の年となりますとともに、県民の皆様にとって輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶いたします。



和歌山県議会議長
岸本 健

新年あけましておめでとうございます。

県民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、憲政史上初となる天皇陛下のご退位に伴う改元が行われ、「令和」という新しい時代の幕開けとなりました。

私も県議会を代表して、「即位礼正殿の儀」に参列してまいりました。時代の節目となるこの厳かな儀式を拝見しながら、地方自治に携わる者の一人として、この令和の時代を魅力ある時代にする責務を強く感じました。

今日、日本全体、とりわけ地方には、人口減少・超高齢化社会の流れが押し寄せています。社会保障費の増大や経済を支える労働力の減少、過疎化による担い手不足の問題が更に深刻化しています。

また本県にあっては、南海トラフ地震等への防災対策や度重なる風水害への対応など自然災害への備えも十分に行わなければなりません。

一方で、夢のある事業も進められています。その一つが統合型リゾート（IR）の誘致です。IR誘致は、観光の振興や雇用の拡大など本県の発展に資するとともに、その収益金の一部は社会福祉の増進や教育の振興など様々な施策への活用が期待できます。現在、いくつかの課題解消に向け、様々な検討が行われているところです。

県議会におきましても、令和の時代にふさわしく、和歌山が一層躍動できるように、長期総合計画に掲げた「世界とつながる愛着ある元気な和歌山」の実現に向け、精一杯尽力してまいります。

結びに、この一年が県民の皆様にとってより良い年になりますようお祈り申し上げます、年頭のご挨拶いたします。



県政最前線

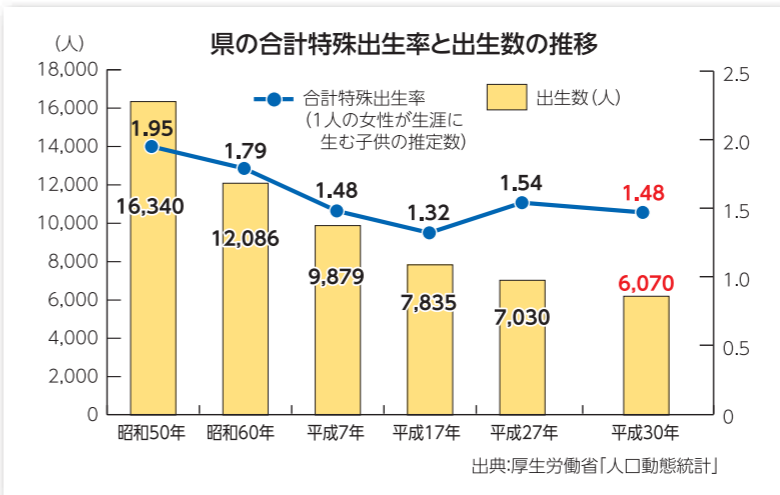
未来を託す
子供を育てる

近年、全国的に人口減少が深刻な問題となっており、平成30年人口動態統計(概数)によると、全国で生まれた子供の数(出生数は91万8,397人で、これまで最小だった前年を2万7,663人も下回りました。県の出生数は6,070人と年々減少しており、合計特殊出生率は1.48で全国値(1.42)を上回っていますが、人口維持に必要なとされる2.07には届いていない状況です。

こうした状況の中、県では2060年に人口70万人を確保することを目標として、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援に取り組んでいます。

少子化をくい止めるためには、子育てにかかる経済的負担の軽減や、子育て世代が相談・交流できる場の充実など、誰もが子育てしやすい環境の整備が重要です。

結婚・出産・子育てを希望する全ての方が、安心して子供を生み育てることができるよう、引き続き子育て支援を進めていきます。



問 県庁子ども未来課 ☎073-441-2492

経済的負担の軽減

幼児教育・保育の無償化

令和元年10月1日から、3歳児から5歳児までの幼稚園、保育所、認定こども園などの利用料などを無償化する国の制度が始まりました。県と県内市町村では、0歳児から2歳児についても、第2子以降について一定の所得制限のもと、利用料などを無償化する制度を引き続き実施します。

利用料等無償化の範囲

	令和元年10月以降の新制度		従来の制度	
	3~5歳児	0~2歳児	3~5歳児	0~2歳児
第1子	所得制限なし	所得制限 年収約270万円 (住民税非課税世帯)	対象外	対象外
第2子	所得制限なし	所得制限 年収約360万円	所得制限 年収約360万円	所得制限 年収約360万円
第3子以降	所得制限なし	所得制限なし	所得制限なし	所得制限なし

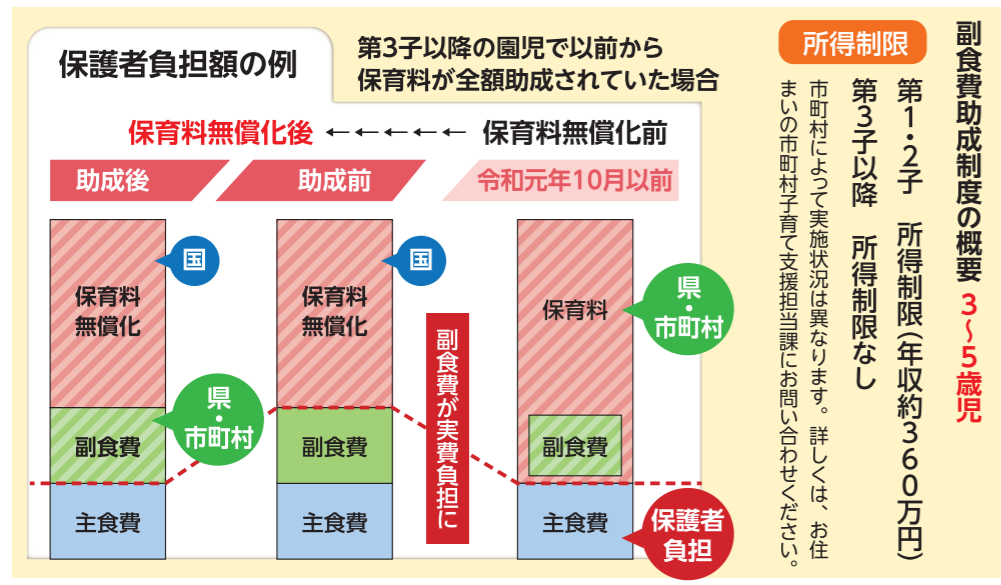
国: 令和元年10月以降の新制度
県・市町村: 従来の制度

対象施設 幼稚園、保育所、認定こども園、児童発達支援センター、病院内保育所、企業内保育所、認可外保育所

市町村によって実施状況は異なります。詳しくは、お住まいの市町村子育て支援担当課にお問い合わせください。

副食費の助成

国の制度ではこれまで保育料に含まれていた副食費は無償化の対象外となります。県と県内市町村では、これまで「紀州っ子いっぱいサポート」で保育料を無償化していた対象世帯に新たな負担が発生しないよう、副食費の支援を継続するとともに、公平性の観点から幼稚園の副食費についても新たに助成の対象とします。



在宅育児支援

経済的支援の対象を、在宅で育児をしている世帯にも拡大し、子育ての選択肢を広げるため、0歳児(生後2カ月を超えてから1歳になるまで)を対象とした支援制度を実施しています。(令和元年度は、平成30年4月1日から令和元年12月31日まで)に生まれた子供が対象です。



支給を受けることができる人

- 和歌山県内に住民登録を有する児童手当等の受給者であること(施設等受給資格者は除きます。)*1
- 職場復帰を前提として育児休業給付金を受給していないこと
- 生活保護法による保護を受けていないこと
- 乳児を保育所などに入所させていないこと
- 暴力団関係者や公序良俗に反する者でないこと

*1 児童手当等の受給者が乳児と同居していない場合は、同居している養育者が対象となります。
*2 配偶者についても(2)および(5)の要件を満たす必要があります。

年度内の申請が必要です。詳しくは、お住まいの市町村子育て支援担当課にお問い合わせください。

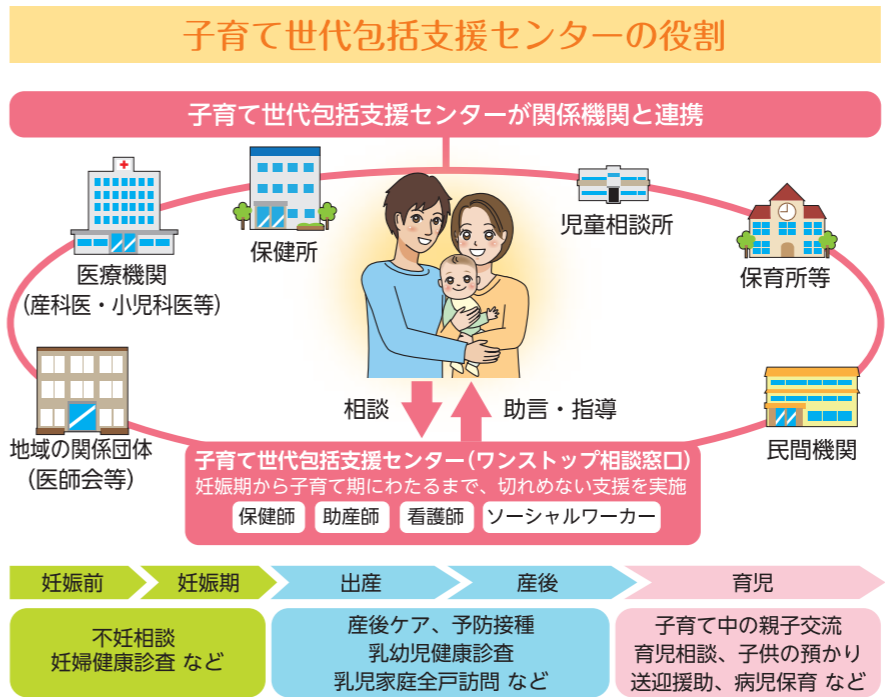
所得制限	支給額
第2子 所得制限(年収約360万円) 第3子以降 所得制限なし	一人当たり 月額1万5,000円 (最大10カ月で15万円)

さらに上乗せを行っている市町村もあります。

子育て環境の充実

子育て世代包括支援センター

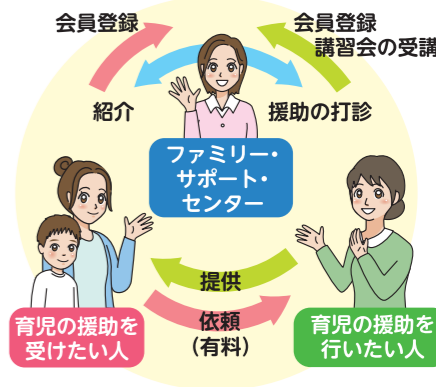
県では、妊娠期から子育て期にわたるまで、保健師や助産師などの専門職による総合的な相談支援をワンストップで行う「子育て世代包括支援センター」を設置する市町村を支援しており、今年度中に県内全市町村で設置が完了する予定です。



ファミリー・サポート・センター(利用可能地域)

和歌山市 和歌山市ファミリー・サポート・センター	☎073-424-3770
海南市 海南市ファミリー・サポート・センター	☎073-483-8506
岩出市・紀の川市周辺地域 いわで・きのかわファミリー・サポート・センター「そらまめサポート」	☎0736-60-4337
橋本市 橋本市ファミリーサポートセンター「スマイリー」	☎0736-39-7515
有田市 有田市ファミリー・サポート・センター	☎0737-83-1470
御坊市・日高町・日高川町周辺地域 御坊市ファミリー・サポート・センター「そらまめサポート」	☎0738-20-9012
田辺市・みなべ町・上富田町・白浜町・すさみ町 田辺市ファミリー・サポート・センター「きっずぱーく」	☎0739-26-5486
新宮市 しんぐうファミリー・サポート・センター	☎0735-23-3755

「子育ての援助を受けたい人」と「子育ての援助を行いたい人」が共に会員となり、地域において相互に助け合う事業です。センターでは、会員の募集・登録、相互援助活動の調整などを行っています。



ファミリー・サポート・センター

interview
インタビュー

有田市子育て世代活動支援センター



センター長
網谷千奈美さん
センターでは育児講座の開催やファミリー・サポート・センター事業を担うなど、子育て世代の支援に取り組んでいます。

子育て世代の支援に取り組む市民団体にも交流の場として活用していただいており、子育て世代同士の繋がりができる重要な場所になっています。
センターに来て交流することで、子育ての悩みや苦勞などを解消できると思いますので、いつでも気軽に立ち寄りください。

子育ての楽しみ方を見つけにきませんか？



未就園児とそのお父さん、お母さんを対象にした親子参加型のイベントを開催します。趣味や遊びを通じて楽しく子育てしている先輩ママさん達と一緒に手遊びやダンスを楽しんだり、おしゃべりしたりしませんか。

日時: 3月8日(日) 10:00~16:00
場所: イオンモール和歌山(和歌山市)

子供を守る取組

里親制度

子供が健やかに成長するには、家族に愛され、また子供自身が愛されていることを実感することが大切です。ところが、さまざまな事情で家族と離れて暮らす子供が全国では約4万5,000人、県内では約450人います。そうした子供たちを自分の家庭に迎え、家族の「あたたかさ」に触れる機会を提供する制度、それが「里親」です。

県では、家族の「あたたかさ」を必要とする子供たちを、深い愛情と正しい理解を持ち、保護者に代わって養育する里親制度を推進しています。



「里親制度とは？」いろいろな里親の種類があります。

養育里親	さまざまな事情により家族と暮らせない子供を一定期間、自分の家庭で養育する
専門里親	虐待や非行、障害等の理由により、専門的な支援を必要とする子供を養育する
養子縁組里親	養子縁組により、子供と法的な親子関係を結ぶことを前提として養育する
親族里親	実親が養育できない場合、祖父母などの親族が子供を養育する

里親委託後の支援

- ①子供の養育に必要な経費が毎月支給されます。
- ②支援者が里親家庭へ訪問し、里親からの相談に応じます。
- ③里親の一時的な休息(レスパイト)のためのケアがあります。

児童虐待防止対策

子供の心身を傷つけ、健全な成長に影響を及ぼす行為で、「しつけ」が行き過ぎると虐待に当たることもあります。児童虐待かもと思ったら、すぐに児童相談所などにご連絡ください。

子供が発するSOSサイン

- ・表情が乏しい
- ・落ち着きがなく、乱暴になる
- ・家に帰りがたらないなど

保護者が発するSOSサイン

- ・感情や態度が変化しやすい
- ・子供の普段の様子を語らない
- ・小さな子供を置いて、よく出かけるなど

虐待の4つのタイプ

- 身体的虐待**
 - ・なぐる、ける、投げ落とす
 - ・やけどを負わせる
 - ・家の外に閉め出すなど
- 性的虐待**
 - ・性的行為をする
 - ・ポルノグラフィの被写体にする
 - ・ポルノビデオを見せるなど
- ネグレクト**
 - ・家に閉じ込める
 - ・食事を与えない
 - ・病院に連れて行かないなど
- 心理的虐待**
 - ・言葉で脅す
 - ・無視をしたり、拒否的な態度をとる
 - ・きょうだい間で差別するなど

お悩み相談受け付けています

子どもと家庭のテレフォン110番

育児や子供の発達に心配・悩みをお持ちの方や、学校や友達のことなど、不安や悩みを抱える子供たちの電話相談です。

☎073-447-1152 相談時間: 毎日 24時間

児童相談所 全国共通ダイヤル

虐待対応ダイヤル【無料】

☎189(いちはやく)

相談専用ダイヤル【有料】

☎0570-783-189(なやみ・いちはやく)

相談時間: いずれも毎日 24時間

児童相談所

開設時間: 月~金曜 9:00~17:45

※すべて年末年始、祝日を除く

県子ども・女性・障害者相談センター

(中央児童相談所)

☎073-445-5312

和歌山市毛見1437-218

県紀南児童相談所

☎0739-22-1588

田辺市新庄町3353-9

県紀南児童相談所新宮分室

☎0735-21-9634

新宮市緑ヶ丘2-4-8

児童家庭支援センターきずな

☎073-460-8044

和歌山市つつじが丘7-2-1

開設時間: 月~金曜 9:00~18:00

里親支援機関

里親支援センター「なでしこ」

☎0736-69-1004

岩出市中迫667-1

里親支援センターほっと

☎0739-34-2735

西牟婁郡上富田町岩田2456-1

子ども救急相談ダイヤル

夜間・休日に子供が急病になった時に、すぐに病院に行ったほうがいいのか、それとも様子を見て大丈夫か、看護師(必要に応じて医師)が相談に応じます。

☎#8000(プッシュ回線・携帯電話)

☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

相談時間: 平日19:00~翌朝9:00

土・日・祝・年末年始(12/29~1/3)

9:00~翌朝9:00

おしらせ

県庁・県教育庁

☎073-432-4111(代表)
〒640-8585 ○○○課あて
(県庁の住所記入不要)
和歌山県のWEBサイトは
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

各振興局代表電話

海草	県庁代表と同じ
健康福祉部	☎073-482-0600
建設部	☎073-423-3281
那賀	☎0736-63-0100
伊都	☎0736-34-1700
健康福祉部	☎0736-42-3210
有田	☎0737-63-4111
日高	☎0738-22-3111
健康福祉部	☎0738-22-3481
西牟婁	☎0739-22-1200
東牟婁	☎0735-22-8551
健康福祉部	☎0735-72-0525
串本支所	
串本建設部	☎0735-62-0755

時…期日・時間 場…場所・会場
対…対象・資格 定…定員 費…費用
申…申込・応募方法 問…問合せ
☑…Eメール
QRコード…県WEBサイトへリンク
🔍…WEBサイトを検索
*は県庁の敷地内にはありません

介護の仕事未経験者向け 介護基礎研修会・就職相談会

時:①1月30日(木)~2月1日(土)②
2月7日(金)~9日(日)③3月16日
(月)・18日(水)・19日(木) いずれも
9:30~
場:①和歌山市民会館②紀南文化会館
(田辺市)③橋本市保健福祉センター
対:定:介護未経験の中高齢者等で
就職希望の方など 各20人(先着順)
申:問:FAXで所定の申込書(申込先、
市町村で配布)を県介護普及センター
☎0739-22-6589 FAX0739-22-6569
和歌山県福祉人材センター 🔍

福祉のしごと就職相談会 inわかやま・はしもと

開催地域で活躍している事業所が相
談に応じます
時:①2月1日(土)②3月19日(木)
いずれも13:00~14:30
場:①和歌山市民会館②橋本市市民会館
問:県福祉人材センターハートワーク
☎073-435-5211
和歌山県福祉人材センター 🔍
※手話通訳・要約筆記は要予約

保育士応援カフェ

保育士として再就職を検討されてい
る方の情報交換の場
時:1月24日(金)13:30~15:30
場:よりみちサロンいおり(田辺市)
問:紀南福祉人材バンク
☎0739-26-4918

あいサポーター研修& 精神・発達障害者 しごとサポーター養成講座

時:①1月21日(火)②2月6日(木)
いずれも13:30~16:00
場:①和歌山労働局(和歌山市)
②情報交流センター Big・U(田辺市)
定:①36人②50人(先着順)
申:問:郵送、電話、FAXで住所、氏
名、電話番号を①1月14日②30日
までに和歌山労働局
〒640-8581和歌山市黒田2-3-3
☎073-488-1161
FAX073-475-0115
和歌山労働局 🔍

アルコール健康障害研修会

専門医による講演、アルコール依存
症体験談など
時:2月1日(土)13:30~16:00
場:西牟婁振興局(田辺市) 🔍
定:60人(先着順)
申:問:電話、FAXで氏名、電話番号、
所属機関名(関係者のみ)を1月24日
(一時保育・手話通訳・要約筆記希望者は
15日)までに県精神保健福祉センター
☎073-435-5194 FAX073-435-5193

ちいきこうえんかい かんが どうしやさいがい 地域講演会「考える、土砂災害」

土砂災害に関する最新の話題提供や
調査研究報告、事例紹介など
時:①1月25日(土)②2月1日(土)
いずれも13:30~15:45
場:①日高川町防災センター
②紀の川市役所南別館
問:県土砂災害啓発センター
☎0735-29-7531
※手話通訳・要約筆記あり

令和2年度 県食品表示ウォッチャー

不適正な食品表示があった場合に県
へ報告していただける方を募集
対:県が実施する研修を受講できる
県内在住で20歳以上の方
定:30人(選考) 🔍
申:問:郵送、FAX、Eメールで募集
名、住所、氏名(ふりがな)、電話
(FAX)番号、メールアドレスを1月
31日までに県庁食品・生活衛生課
FAX073-432-1952
☑ e0316001@pref.wakayama.lg.jp

なんびょう こ かぞくかい がくしゅうかい 難病の子ども家族会 学習会

テーマ:地域で生活する医療的ケア
児の最近の動向
時:2月1日(土)13:30~15:00
場:県立医大生涯研修センター(和歌
山市)
対:定:病気や障害のある子供の家族、
保健・医療・福祉・教育関係者、関心
のある方 40人(先着順)
申:問:電話、FAXで学習会名、氏名、
電話番号、一時保育の有無を1月17日
までに県難病の子ども家族会事務局
☎073-445-0520 FAX073-445-0603
※一時保育は要予約

けんみんこうかい 県民公開セミナー ~お酒で悩んでいませんか~

テーマ:いのちを生きる
時:2月9日(日)13:30~16:00
場:粉河ふるさとセンター(紀の川市)
定:80人(先着順) 🔍
問:NPO法人和歌山県断酒連合会
☎0736-75-3966

けんしょうひせいかつ 県消費生活センターからの お知らせ

①生活教養講座
今話題の生活情報や災害に備える製
品安全の知識などを学ぶ
時:2月6・13・20・27日 いずれも木
曜13:30~15:00(全4回)
※1回のみ受講可
場:西牟婁振興局(田辺市)
定:各40人(先着順)
申:郵送、電話、FAXで住所、氏名、
電話番号、受講希望講座を1月24日
までに問合先

②「消費生活サポーター」養成講座
地域での啓発活動ボランティアを募集
時:[1]2月12日(水) [2]14日(金)
[3]17日(月) いずれも10:00~16:30
場:[1]和歌山ビッグ愛(和歌山市)
[2]伊都振興局(橋本市) [3]西牟婁振
興局(田辺市)
対:県内在住で20歳以上の方
定:各40人(先着順)
申:郵送、FAXで所定の申込書
(WEBサイトで配布)を2月5日まで
に問合先

①②共通
問:県消費生活センター
〒640-8319和歌山市手平2-1-2
和歌山ビッグ愛8階
☎073-433-1551 FAX073-433-3904
和歌山県消費生活センター 🔍

しゅうかん しみんこうかいこうざ アレルギー週間 市民公開講座

アレルギー疾患の治療・研究に携わ
る医師、研究者による講演
時:3月1日(日)14:00~16:00
場:県民文化会館(和歌山市)
定:100人(先着順)
申:郵送、FAX、Eメール、インター
ネットです定の申込書(申込先、WEB
サイト、県庁健康推進課で配布)を日
本アレルギー協会関西支部「アレル
ギー週間 市民公開講座」事務局
〒567-0047大阪府茨木市美穂ヶ丘
3-6山本ビル302号
FAX072-624-4284
☑ t-fukamizu@tiara.ocn.ne.jp
問:県庁健康推進課
日本アレルギー協会関西支部 🔍

だんじょきょうどうさんかく みんなに男女共同参画

①家族で家事シェア作戦会議!
時:2月2日(日)10:00~12:00
場:*県男女共同参画センター(和歌
山市)
対:家族で参加できる方
定:10組(先着順)
申・問:電話で氏名、電話番号、子供
の参加有無を1月31日15:00まで
にNPO法人ホッピング
☎073-425-8789

②よりよい家族コミュニケーション
災害時の食事作りの実習など
時:2月8日(土)10:00~12:00
場:橋本市保健福祉センター
定:30人(先着順)
申・問:電話、FAX、Eメールで氏名、
電話番号をGEはしもとサピュイエ
☎090-9051-8787 FAX0736-36-1958
☑ te-hiraki@athena.ocn.ne.jp
※一時保育は要予約

③ワーク・カフェ
より良い「はたらく」に向けたアク
ションプランを描く
時:2月15日(土)13:30~16:00
場:*県男女共同参画センター(和歌
山市)
対:定:40歳以下の方 20人(先着順)
申・問:電話、Eメールで氏名、電話
番号をワーク・カフェ
☎090-4499-8228
☑ info@workcafe.org
※一時保育は要予約

けんりついでい みびょうけんこうじゅうく 県立医大 みらい未病健康塾

「糖尿病合併症とその対策」、「不整脈
でおこる脳卒中」についての講演会、
医師による相談会
時:1月25日(土)10:30~12:45
場:フォルテワジマ(和歌山市)
定:50人(抽選)
申・問:郵送、電話、FAX、Eメール、
インターネットで氏名、電話番号、
(相談希望の方は糖尿病・不整脈等の
別)を1月22日までに県立医大みら
い医療推進センター 〒640-8033和
歌山市本町2-1フォルテワジマ5階
☎073-488-1934 FAX073-488-1935
☑ satellit@wakayama-med.ac.jp
和歌山県立医大 🔍

けんだんじょきょうどうさんかく 県男女共同参画センター “りいぶる”からのお知らせ

①魅力ある女性リーダー養成講座
[1]スキルアップ講座
[2]リーダーシップ講座&ロールモ
デルによるパネルディスカッション
時:[1]1月15日(水) [2]21日(火)
いずれも10:00~17:00
対:定:県内在住・在勤の管理職をめ
ざす女性従業員 各30人(先着順)

②ヒューマンライブラリーりいぶる
本にみたてた語り手が多様な生き方
について話す
時:1月25日(土)13:30~15:30
定:30人(先着順)

③語り合い広場
「多様な性について話そう」
時:2月2日(日)13:30~15:30
定:30人(先着順)

④女性の力で社会を動かす!
講演、パネルディスカッション
時:2月9日(日)13:30~16:00
定:80人(先着順)

①~④共通 場:県男女共同参画センター(和歌山市)

申・問:郵送、電話、FAX、Eメール、
インターネット、来所で住所、氏名、
電話番号、(①のみ勤務先)を(②③一
時保育希望者は開催10日前、④一時
保育・手話通訳・要約筆記希望者は1
月17日までに)県男女共同参画セン
ター
〒640-8319和歌山市手平
2-1-2 和歌山ビッグ愛9階
☎073-435-5245 FAX073-435-5247
☑ ①④e0315011@pref.wakayama.lg.jp
②③libre@sirius.ocn.ne.jp

だい かいほっぽうりょうどへんかんようきゅう 第39回北方領土返還要求 わかやまけんみんたいかい 和歌山県民大会

講演や中学生の北方領土問題現地研
修報告など
時:2月7日(金)
13:00~16:00
場:貴志川生涯学習セ
ンター(紀の川市)
定:380人(先着順)
問:県庁広報課
※手話通訳あり



北方領土イメージ
キャラクター
「エリカちゃん」

ゆあさごぼうどうろありだみなみインターチェンジ
湯浅御坊道路有田南IC
いりぐち へいさ
入口を閉鎖しています

湯浅御坊道路4車線化拡幅工事にともない次の期間有田南IC入口を閉鎖しています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。(※有田南IC出口は通常どおりご利用いただけます)

【終日閉鎖】
時：～3月1日(日)6:00まで
【夜間閉鎖】
時：3月3日(火)～4月3日(金)の毎週火・木曜 21:00～翌6:00
※荒天による工事順延の場合、最長4月17日(金)6:00まで
問：西日本高速道路(株)関西支社 和歌山工事事務所
☎073-474-7810

けんけつ
「はたちの献血」キャンペーン

毎年1・2月は献血者が減少し、血液が不足します。あなたの血液で救える命があります。新たに成人を迎える若者を中心に、献血へのご理解とご協力をお願いします。



問：県庁業務課

自然の中で心はぐくむ体験がいっぱい!



せいしやうねんのいえ
紀北青少年の家

〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3
☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531

いん きほく
こおどフェスタin紀北

子供から高齢者まで楽しめる住民参加型の祭り
時：2月2日(日)10:00～15:30

おんせいがい ほうほう ひやくとおぼん
音声以外の方法による110番

和歌山県警察では、聴覚や言語機能に障害のある方、音声による110番通報が困難な方専用の110番を運用しています。
【110番アプリシステム】による通報
スマートフォンに専用の「110番アプリ」をダウンロードしてください。
【メール110番】による通報
「police@110wakayama.jp」に事件・事故の内容を送信してください。
【FAX110番】による通報
「073-428-0110」に事件・事故の内容を送信してください。
※聴覚や言語機能に障害のある方、音声による110番通報が困難な方以外の使用はご遠慮ください。
問：県警察本部地域指導課通信指令室☎073-423-0110

こじんじゅうみんぜい きゅうよしはらいほうこくしょ
個人住民税の給与支払報告書の提出期限は1月31日です

1月1日現在、従業員に給与の支払いをする事業者で、所得税を源泉徴収する義務のある方は、期限までに給与支払報告書を従業員の住所地市町村まで提出してください。

問：従業員の住所地市町村



しゅうかつ
就活サイクルプロジェクト
ごとうきぎょうせつめいかい
合同企業説明会

時：①2月10日(月)②18日(火)③25日(火)④28日(金)
いずれも13:00～16:00
場：①紀南文化会館(田辺市)②和歌山ビッグ愛(和歌山市)③橋本商工会館(橋本市)④新宮市役所別館
対：結婚や出産で離職した女性、定年退職された方、Uターン転職希望者など県内で再就職を希望する方
申・問：電話、FAX、Eメール、インターネットで住所、氏名、電話番号、メールアドレス、年齢、参加会場を開催1週間前(一時保育希望者は2週間前)までに県再就職支援センター
☎073-421-8080 FAX073-424-0230
✉ job-cycle@re-employment.org
和歌山県再就職支援センター
※手話通訳あり

きょうしつ
ヨガマルシェ教室

時：1月9日～3月12日の木曜(全10回)9:45～10:45
場：県立橋本体育館(橋本市)
対・定：18歳以上の方 40人 (先着順)
費：6,280円(10回分)
申・問：持参で所定の申込書(申込先で配布)と参加費を会場
橋本市北馬場455
☎0736-32-9660
和歌山県立橋本体育館
※一時保育は要予約(有料)

しよのみさきせいしやうねん いえ
潮岬青少年の家

〒649-3502 串本町潮岬669
☎0735-62-6045 FAX0735-62-0182

はるまつ
おもしろらんど「春祭り」
ぼしゅう
ボランティアスタッフ募集

お祭り当日にボランティア活動していただける方
時：2月23日(日)10:00～16:00
対・定：中学生以上 若干名 (先着順)
申：2月1日～

※申し込みには、参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号などがが必要です。Eメール、FAXで申し込まれた場合は電話で確認してください。
詳しくは各施設へ

〇〇青少年の家

けんえいじゆうたくにゆうきよしや
県営住宅入居者

申込用紙配布：2月3日(月)～12日(水)9:00～17:00(土日祝除く)
配布場所：県住宅供給公社、県庁建築住宅課、振興局建設部(海草除く)
【和歌山市】延時・東松江(*)・楠見・雄湊(*)・紀伊(*)・今福第二(*)・和歌山東(事故住宅)(*)・東松江(事故住宅)(*)・今福第二(事故住宅)(*)各1戸/干旦1～9号棟・三葛・ニューかわなが(*)各2戸/西脇グリーン3戸
【岩出市】鴨沼1号棟1戸
【紀の川市】長山2戸
【橋本市】野(事故住宅)1戸
【かつらぎ町】笠田1戸
【紀美野町】小畑1戸/野上4戸
【有田市】港2戸
問：県住宅供給公社 ☎073-425-6888
【田辺市】西跡之浦・中芳養・鮎川第二・新万(視覚障害者向)・西跡之浦(肢体障害者向)各1戸/内ノ浦・栗栖川各2戸
【白浜町】椿3戸・日置2戸/阪田・日置(事故住宅)各1戸
【上富田町】丹田台3戸/岡1戸
問：西牟婁振興局建設部 建築課 ☎0739-26-7922

【那智勝浦町】宇久井1戸
【太地町】平見1戸
問：東牟婁振興局新宮建設部 総務調整課 ☎0735-21-9624

※(*)はバリアフリー化された住戸
※上記は予定であり、確定は2月1日
※入居者が決定しなかった住戸は、3月2～10日に二次募集実施
詳しくは要問合せ

とくていこうきょうちんたいじゆうたくにゆうきよしや
特定公共賃貸住宅入居者
ちゅうけんしよとくしやそうむ
～中堅所得者層向け～

申込用紙配布：2月3日(月)～12日(水)9:00～17:00(土日祝除く)
配布場所：問合先
【和歌山市】城北(*)3戸(3LDK72,000円)
※(*)はバリアフリー化された住戸
問：県住宅供給公社
☎073-425-6888

けんかんこう
県観光キャンペーンスタッフ
「きのくにフレンズ」

メディアなどへの対応や観光キャンペーンでPR
審査：2月9日(日) 県民文化会館(和歌山市)
委嘱期間：4月1日から1年間
対・定：県内在住・在学・在勤または県出身の18歳以上(令和2年3月31日現在、高校生不可)で行動的な方など3人
申・問：郵送、持参で履歴書を1月31日までに県観光連盟(県庁観光振興課内)
☎073-422-4631
令和2年度きのくにフレンズ募集



かいし しよくぎょうくねんじゆうこうせい
2・3月開始の職業訓練受講生

就職に有利な専門知識や技能を習得
科目：①ビル管理技術科②医療調剤パソコン科③介護職員初任者養成科④初歩からのパソコン基礎科⑤パソコン・簿記事務科⑥パソコン基礎科
場：①～③和歌山市④有田市⑤御坊市⑥岩出市
申・問：ハローワーク(申込締切日あり)
※詳しくはWEBサイトを要確認
和歌山労働局 職業訓練

しゅうしよく
就職フェア

①県内での就職を希望する方を対象とした合同面談会
時：1月13日(祝)13:00～16:00
場：和歌山ビッグ愛(和歌山市)
②紀南地域での就職を希望する方を対象とした合同面談会
時：1月18日(土)13:00～15:30
場：紀南文化会館(田辺市)
①②共通
対：一般求職者、令和2年3月卒業予定の大学・短大・専門学校・高校生等
問：県庁労働政策課
UIわかやま就職ガイド
※手話通訳は要予約

しゅうのうそうだん よやくせい
あなただけの就農相談(予約制)

就農に必要な情報提供と個別相談
時：1月26日(日)9:00～16:00(相談時間は90分)
場：県就農支援センター(御坊市)
定：4人 (先着順)
申・問：電話で住所、氏名、電話番号、相談希望時間、相談内容を1月23日までに会場
☎0738-23-3488



ひさいたくちきげんどはんていししようせいこうしゆうかい
被災宅地危険度判定士養成講習会

地震などによる二次災害防止のための危険度を判定する技術者を養成
時：①2月5日(水)②13日(木)いずれも13:30～16:30
場：①県民文化会館(和歌山市)②情報交流センター Big・U(田辺市)
対：2級施工管理士(土木・建築・造園)の資格があり、5年以上の実務経験のある方など
定：①50人②30人 (先着順)
申・問：郵送、FAXで所定の申込書(申込先、振興局建設部、市町村、WEBサイトで配布)を1月24日までに県庁都市政策課
FAX073-441-3232



ひと しぜん
人と自然をつなぐシンポジウム

時：1月19日(日)13:00～16:00
場：ハナヨアリーナ(田辺市)
定：300人 (先着順)
申・問：郵送、FAX、Eメールで所定の申込書(申込先、WEBサイトで配布)を1月17日までに県庁自然環境室
FAX073-433-3590
✉ e0320004@pref.wakayama.lg.jp
※手話通訳・要約筆記あり

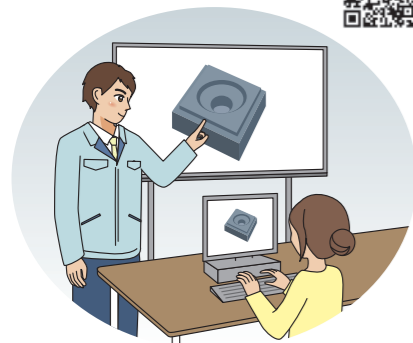


ほうきょういく
法教育セミナー

映画「エンディングノート」の上映と弁護士等による「終活」に関する座談会
時：1月25日(土)13:30～16:30
場：県民文化会館(和歌山市)
定：300人 (先着順)
問：法テラス和歌山
☎050-3383-5457

しょくぎょうくねんしどういんさいよう
職業訓練指導員採用

試験区分:メカトロニクス・CAD科
時:【一次】1月26日(日)
【二次】2月16日(日)
場:和歌山産業技術専門学校(和歌山市)
採用予定人数:1人
受験資格:試験区分に応じた職業訓練指導員の免許を取得または取得見込みで昭和55年4月2日以降に生まれた方
※詳しくは試験案内を要確認
勤務地:和歌山市
願書配布:申込先、県人事委員会事務局、振興局総務県民課、和歌山・田辺産業技術専門学校
申・問:郵送、持参で1月14日までに県庁労働政策課



そくりょうし そくりょうしほ
測量士・測量士補

時・場:5月17日(日) 大阪府など
願書配布:県庁技術調査課、振興局建設部
申・問:1月6~27日に国土地理院
☎029-864-8214
国土地理院
※詳しくは要問合せ

広告

けんりつこうとうがっこう
県立高等学校
ていじせい つうしんせいかていにゆうがく
定時制・通信制課程入学

出願受付:定時制=一般出願2月21・25日、本出願3月3・4日
(学力検査は3月10日、面接・実技検査などは3月11日)
※成人特別措置制度あり
通信制=3月3~31日(学力検査なし、面接などを実施)
※一部の科目だけでも履修可
問:県教育庁県立学校教育課、各高校



募集校	学科
伊都中央	単位制普通科(昼間・夜間)
粉河	普通科(夜間)
きのくに青雲	単位制普通科(昼間・夜間)
	情報会計科(夜間)
和歌山工業	機械電気科・建築科(夜間)
海南	普通科(夜間)
耐久	普通科(夜間)
日高	普通科(夜間)
南紀	単位制普通科(昼間・夜間)
新宮	普通科(夜間)
伊都中央	普通科
きのくに青雲	普通科
南紀	普通科

試験 しけん

かんごしさいよう
看護師採用

時:1月24日(金)
※面接2月13日(木)
場:県民文化会館(和歌山市)
採用先:県立こころの医療センター
採用予定人数:1人程度
受験資格:昭和55年4月2日以降生まれの有資格者または取得見込者
申込書配布:申込先、県庁医務課、WEBサイトなど
申・問:郵送で1月14日までに県立こころの医療センター
〒643-0811 有田川町庄31
☎0737-52-3221



けんしよくいんさいようせつめいかい
県職員採用説明会

県職員採用I種(大学卒業程度)試験・資格免許職職員採用試験の概要、業務説明、フリートーク、職場見学
時:3月2日(月) 13:00~17:00
場:県民文化会館(和歌山市)
定:200人(先着順)
※家族や次年度以降受験を検討している方も参加可
申・問:原則としてインターネットで(郵送の場合は往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、志望職種、職場見学希望の有無を)2月7日までに県人事委員会事務局



もよお
今月の催し

青字施設 は65歳以上、障害者、高校生以下、外国人留学生などは入場無料 **展** は展示
赤字施設 は入場無料 **イ** はイベント

青字施設を月1回無料開放しています 令和2年3月まで
近代美術館・博物館:毎月第1日曜日
紀伊風土記の丘:毎月1日 **自然博物館:**毎月第2水曜日

けんりつ きんたいびじゅつかん
県立近代美術館 ☎073-436-8690 FAX073-436-1337
〒640-8137和歌山市吹上1-4-14
9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)、12/16~1/3
※1月27日~4月20日まで照明工事のため休館します。
展 コレクション名品選 1月4日(土)~26日(日)

けんりつ はくぶつかん
県立博物館 ☎073-436-8670 FAX073-436-6643
〒640-8137和歌山市吹上1-4-14
9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)
※~1月31日まで照明工事のため休館します。
展 企画展「きのくに神秘的仮面」 2月1日(土)~3月8日(日)

けんりつ きい ふどき おか
県立紀伊風土記の丘 ☎073-471-6123 FAX073-471-6120
〒640-8301和歌山市岩橋1411
9:00~16:30(入館は16:00まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)、12/29~1/3

イ おしゃべり考古学⑤ 1月17日(金) 13:30~15:00
対・定・申:15歳以上 30人(先着順) 当日受付
展 冬期企画展「古墳から古代寺院へ~紀伊における儀礼の変遷を探る~」 1月18日(土)~3月1日(日)
イ 連続講座「岩橋千塚⑫」 1月26日(日) 13:30~15:30
対・定:小学生以上 30人(先着順)
申:1月10日13:00~
イ 冬期企画展 展示講座 2月2日(日) 13:30~15:30
対・定:小学生以上 30人(先着順)
申:1月17日13:00~

けんりつ しぜん はくぶつかん
県立自然博物館 ☎073-483-1777 FAX073-483-2721
〒642-0001海南市船尾370-1
9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館/月曜(祝日の場合次の平日)、12/29~1/3

イ 裏方探検ツアー 1月25日(土) 10:00~12:00
対:小学生以上(小学4年生以下は保護者同伴)
定・申:20人(抽選) 1月11日まで
イ 食卓に上がる魚をじっくり見てみよう 2月15日(土) 13:00~16:00
対:小学5年生以上(小学生は保護者同伴)
定・申:20人(抽選) 2月1日まで

けんどうぶつ あいご
県動物愛護センター ☎073-489-6500 FAX073-489-6504
〒640-1251 紀美野町国木原372
10:00~17:00 休館/火曜、12/29~1/3

イ 犬・猫の飼育講習会及び譲渡会
①1月8日(水)・12日(日)・26日(日)、2月9日(日)・20日(木)・23日(日)②1月22日(水)
③1月31日(金)④2月3日(月) 11:00~
場:①県動物愛護センター②御坊保健所
③湯浅保健所④新宮保健所
※譲渡を受けるには受講と、犬については狂犬病予防ワクチン接種代2,700円が必要です。
※県動物愛護センターでは譲渡会を常時開催しています。

けんしよくぶつこうえんりよつか
県植物公園緑花センター ☎0736-62-4029 FAX0736-63-2570
〒649-6211 岩出市東坂本672
9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館/火曜(祝日の場合次の平日)、12/27~1/1

1月の花ごよみ ツバキ・ハボタン・ビオラ・洋ラン・シクラメン
イ バラの手入れ教室 1月12日(日)
定・費:36人(先着順) 300円
イ 1月の寄せ植え教室 1月19日(日)
定・費:40人(先着順) 1,800円
展 早春の洋ラン展 2月7日(金)~9日(日)
イ 洋ランの育て方教室 2月9日(日)
定・費:36人(先着順) 300円

かたおなみ こうえんまんようかん
片男波公園万葉館 ☎073-446-5553 FAX073-446-5554
〒641-0022和歌山市和歌浦南3-1700
9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館/12/29~1/3

イ あさもよし きのくに歴史講座「鉄砲伝来と紀伊」 1月12日(日) 13:30~15:00
対・定・費:中学生以上 30人(先着順) 500円
イ 日曜体験教室「楽しい手まり作り(全2回)」 1月19・26日(日) 13:00~15:00
対・定:16歳以上 12人(先着順)
費・申:1,800円(2回分) 事前申込
展 企画展「第8回万葉日本画展」
前期1月23日(木)~2月23日(日)
後期2月25日(火)~3月31日(火)



けんりつ としょかん
県立図書館 ☎073-436-9500 FAX073-436-9501
〒641-0051和歌山市西高松1-7-38

けんりつ きなん としょかん
県立紀南図書館 ☎0739-22-2061 FAX0739-22-4773
〒646-0011 田辺市新庄町3353-9
(県立情報交流センター Big・U内)

いずれも9:00~19:00(土日祝は18:00まで)
休館/月曜(祝日の場合次の平日) 毎月第2木曜、12/29~1/4

県立図書館
イ 室内楽定期演奏会「堀米ゆず子と若き才能たち」 1月19日(日) 19:00~
定:250人(先着順)
費:4,000円(前売3,000円)、学生1,000円(30席)

イ ウィンター遊ing2020
ピアノ教室発表会、各種教室の体験プログラム
1月19日(日)・31日(金)、2月1日(土)
※教室の内容・時間・材料費など詳しくは要問合せ
イ ボランティアによる「おはなし会」
1月11・18・25日、2月8日(土) 14:00~、2月1日(土) 11:00~

県立紀南図書館
イ ゆうゆうおはなし会
1月12・19・26日、2月2・9日(日) 11:00~11:30

なんき くまの
南紀熊野ジオパークセンター ☎0735-67-7100 FAX0735-67-7191
〒649-3502 串本町潮岬2838-3
9:00~17:00 休館/12/29~1/3

展 防災についての特別展示 1月11日(土)~19日(日)
イ 穴倉正展氏(産総研)による防災講演会
1月19日(日) 14:00~15:00

読者のお便り募ります

編集部では、県民の友に関係することなどを募集しています。郵送、FAX、Eメール(e0002001@pref.wakayama.lg.jp)で、

住所、氏名、年齢、電話番号を記入し広報課「県民の友」係、メールでは、タイトルに「県民の友」と入力の上、お寄せください。

和歌山県PRキャラクター
たいけん **きいちゃんの
体験レポート**



わかやま
オススメ

いちご狩り

身近に楽しめる体験などから
わかやまの自然や歴史文化を知ろう！

和歌山県のいちご栽培は、昭和30年頃から始まったとされ、現在は紀の川流域や海岸沿岸部を中心に、県内各地で栽培されています。品種は「まりひめ」「さちのか」「紅ほっぺ」で9割を占めますが、この他にも多くの品種が栽培されています。

いちごの収穫時期は12～5月頃。小売店や農産物直売所にはいろいろないちごが並びます。また、シーズン中は摘みたてならではの美味しさが満喫できる「いちご狩り」も多くの観光客で賑わいます。ぜひ香り高いフレッシュな県産いちごをお楽しみください。

※営業期間・品種は各農園で異なります。



和歌山県オリジナル品種「まりひめ」の品種登録から今年で10周年を迎えるよ

きいちゃんインタビュー



和歌山県いちご生産組合連合会会長の三原康弘さんにお聞きしました。

新春に先がけ、12月から今季の本格的な出荷が始まっています。いちごは摘みたてが一番おいしいので、皆さんの身近な産地のものや、いちご狩りがおすすめです。

「まりひめ」をはじめ、安心安全で魅力あふれる和歌山県産いちごを皆さんの笑顔のためにお届けできるよう、私たちが頑張っている作っていますので、ぜひ味わってみてください。

お問い合わせは
和歌山県いちご生産組合連合会
(県庁果樹園芸課内) ☎073-441-2904



「まりひめ」の出荷量は全体のわずか0.1%!

まりひめ(12月上旬～5月頃)
早生種の「草姫」と、コクのある「さちのか」を交配させた和歌山県オリジナル品種。今年3月に品種登録10周年を迎えます。

「毬姫様」(12～2月)
大きさと味にこだわり期間限定で出荷される特別な「まりひめ」。冬のいちごは時間をかけてじっくり赤く、しっかり甘く育ちます。

「毬姫様」のこだわり

- ・粒の大きさは35g以上、糖度は9度以上の果実を厳選
- ・へたの根元まで赤く熟した完熟状態で収穫
- ・品質を守るため12～2月の期間限定出荷



「毬姫様(まりひめさま)プレゼント

まりひめ10周年を記念して、抽選で10名様に「毬姫様」をプレゼント!

1月20日(月)<消印有効>までに、住所、氏名、電話番号を記入のうえ、ハガキで〒640-8585(住所不要)和歌山県果樹園芸課「県民の友まりひめプレゼント」係へご応募ください。

※皆さんの個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。



ちょうさとついか 調査統計課からのお知らせ

①2020年農林業センサス

2月1日現在で、農林業の実態に関する5年に一度の統計調査を実施します。

1月中旬から農林業を営んでいる皆さんのところに統計調査員が訪問しますので、ご回答をお願いします。

②毎月勤労統計調査

雇用労働者の賃金や労働時間、雇用の変動を毎月調査しています。調査結果は、失業給付金額や労災保険の給付額改定などの重要な基礎資料となります。

調査対象事業所を把握するため、統計調査員が1月から2月にかけて事業所を訪問しますので、ご回答をお願いします。

対象:和歌山市、海南市、御坊市、田辺市、岩出市、由良町

問:県庁調査統計課



和歌山県優良県産品 プレミア和歌山

『プレミア和歌山』は、“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”視点で審査し、優良な県産品を推奨する制度です。

まりひめコンフィチュール

和歌山県オリジナル品種「まりひめ」の甘みをそのまま閉じ込め、フレッシュな莓のおいしさが味わえる逸品です。ヨーグルトなどのお供として、食卓へお届けします。

株式会社しおん ☎0736-64-2315



抽選で**10名様**にプレミア和歌山推奨品「まりひめコンフィチュール150g」をプレゼント!

1月20日(月)<消印有効>までに住所、氏名、年齢、電話番号、商品名、県民の友への感想を記入のうえ、ハガキで〒640-8585(住所不要)和歌山県広報課「プレミア和歌山プレゼント」係へご応募ください。

※皆さんの個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

問:県庁広報課 ☎073-441-2032

プレミア和歌山



人 権 連 携 心 ころ の 気 づ き

難病患者の「治療」と「仕事」の両立について

問 県庁健康推進課 ☎073-441-2640
難病は、治療方法が確立しておらず長期の療養を必要としますが、投薬などにより症状をコントロールすることで日常生活を過ごすことができる方も増えてきています。

しかしながら、多くの難病の方が治療と仕事の両立の難しさに悩んでおり、実際に職場の理解や配慮を得て働いている方は3割程度に過ぎません。治療の時間が取れないために、転職や退職を余儀なくされる場合もあります。

難病をはじめ、病気による治療と仕事を両立させるためには、時間単位での休暇やフレックスタイムなどの制度の普及はもちろん、その制度の利用に対する周囲の理解が必要不可欠です。難病は、誰もが突然なりうるものです。病気を抱えながら働く方への正しい理解を深めるとともに、治療と仕事を両立されている方に配慮をお願いします。県では、難病・子ども保健相談支援センターにおいて療養生活、就労などに関する相談を随時受け付けておりますので、ぜひご利用ください。

【問い合わせ】
難病・子ども保健相談支援センター
☎073-445-0520
相談時間: 9:00～17:45
(土、日、祝、年末年始は除く。)



広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

新春特番 知事対談

ゲスト:松本正義氏(関西経済連合会会長)
1月1日(祝)10:30・(再)3日(金)17:00

県議会新春特番

岸本議長ふるさとで語る
1月1日(祝)11:00・(再)3日(金)17:30
きのくに21 日曜 9:30・(再)18:30

1月19日 和歌山で教員として働きませんか
1月26日 きのくにロボットフェスティバル2019

県民チャンネル 月・火・木・金・土曜 21:55

ラジオ 和歌山放送 WBS

新春特番 知事対談

ゲスト:松本正義氏(関西経済連合会会長)
1月1日(祝)9:10

県議会新春特番

岸本議長ふるさとで語る
1月1日(祝)10:10

県庁だより 毎日 11:40・(再)18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40~16:00

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

わかやまジビエフェスタ2019-2020開催中!

県内で捕れたイノシシやシカをジビエ料理として楽しむイベントを開催中。期間中、参加店舗でジビエ料理を注文いただいた方から抽選で20名様に「ジビエ詰め合わせ」をプレゼント!さまざまなジビエ料理をぜひご堪能ください。

開催期間:2月29日(土)まで

開催場所:県内料理店(飲食店・ホテルなど)

※詳しくはWEBサイトをご確認ください

問合せ:県庁畜産課 [わかやまジビエフェスタ](#)



広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



ひとつずつ、ひとつずつ

去る11月16日、串本でスペースワン(株)によるロケット発射場建設工事の起工式が行われました。3月26日の建設決定発表の直後からすぐ取付け道路の建設が始まり、2021年度中の初打上げに向け急ピッチで工事が進んでいます。射場の名称はスペースポート紀伊(SPK)となりました。技術開発による衛星の小型化は、これからの世界を変えるようなビジネスの展開が予想されます。その最先端の営みがわが和歌山県で進みつつあるというのはわくわくすることであります。

ロケットだけではなくありません。白浜や田辺や和歌山市でもIT企業の集積が少しずつではありますが進みつつあります。白浜はまた和歌山県提唱のワーケーションの聖地となりつつあります。企業誘致も頑張っていたら累計221社になりました。県内企業も業績を伸ばして、色々な賞を取るものも続出しています。

観光客は随分増え、特に高野山や熊野古道は外国人観光客に大人気です。日本遺産も5つになり、日本ジオパークも世界農業遺産も認定されました。みかんは売上日本一を奪還し、果実全体でも売上日本一を再び達成しました。遅れていた高速道路はどんどん伸び、今や完成率は全国並みとなりました。県内の幹線道路も府県間道路も主要市の幹線都市計画道路も、ひとつずつ、ひとつずつ完成しつつあります。ひとつずつ、ひとつずつなのであります。

しかし、ひとつずつ、ひとつずつは、また一方、まだあれも、まだこれもであります。まだまだたゆまず、頑張り続けなければなりません。なぜなら、過去のつらかった時代の遺産はまだまだ和歌山の上に被さっています。高齢化が他より進んでしまった和歌山県は、これからも急激な人口減を覚悟しなければなりません。今はようやく生産力を回復してきた産業活動も担い手の高齢化とともに常に危機と直面しています。災害にも備えなければなりません。しかも、ぐずぐずしていたら、我々全員が確実に一歳一歳年をとっていくのです。それでもやはり、何にしても、いつの時代でもひとつずつ、ひとつずつです。皆で力を合わせて、積み重ねて行くしかありません。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



手話表現紹介動画はこちらから

環境に優しい植物油インクと古紙/パルプ配合率80%再生紙を使用しています。

